

技術士 1 次試験に合格して



加嶋 慎也

(かしま しんや)

勤務先

株式会社 クマシロシステム設計

計画調査第 2 部

〒060-0061 札幌市中央区南 1 条西 18 丁目 1-9KS フロンティアビル

TEL 011-632-1010 FAX 011-632-1011

E-mail kashima@ksfnet.co.jp

■ 専門：建設部門

1. 自己紹介

私は生まれも育ちも札幌で、大学では土木工学を学び、コンクリートの維持管理に関する研究をしていました。2016 年(平成 28 年)より現在の会社に就職し、港湾・漁港事業のコンサルティング業務を行っています。

2. 受験に至るまで

技術士という資格を初めて認識したのは、私の出身大学の所属していた学科が少し前まで JABEE 認定コースで、現在は廃止になっているという話を聞いた時です。一次試験が免除にならないという話を学生時代に聞き、残念に思ったことを記憶しています。入社後に技術士の方々と触れる機会が多くなり、知識量はもちろんのこと、責任感や意識の違い、視野の広さなどに非常に感銘を受けました。また、技術士の取得は、将来の働き方を描くうえで最も分かり易い指標でしたので、すぐに受験を決意しました。

3. 受験体験

受験するに当たり、まず試しに過去問 1 年分を解き、現段階での自分のレベルについて理解しました。その結果、適正科目についてはすでに合格点に達していたため試験直前まで触れないこととし、基礎・専門科目を優先的に勉強していくことにしました。勉強方法は単純に過去問を繰り返すことだけを考えると、専門科目は 1 か月以内に過去 10 年分を解き、その後は誤答部分を中心に計 3 周解き直しました。基礎科目についても同様でしたが、出題パターンがほとんど決まっていることや、自分で選択できる自由度が高かったため、解答可能な問題について穴が無いように勉強を進めていきました。また、勉強のテクニックとして、最初の 1 周目は紙とペンを使ってじっくり解きましたが、2 周目以降は問題を見て解法のみを思い浮かべるようにして、時間の短縮を

図りました。さらに、正誤問題ではすべての選択肢について吟味するようにし、過去問を問題集のように最大限活用して、効率的な勉強を心がけました。

また、社内でも定期的に勉強会を開いていただきました。自分の得意分野について、受験者自らが講師となって教えることにより、自分だけでなく、お互いの理解が深まるという勉強方法を実施するなど、丁寧にサポートしていただけました。

試験が近づくにつれ、良くないことに勉強へのモチベーションが下がる時期もありました。また、仕事も徐々に忙しくなっていったため、試験 1 か月前くらいからは勉強をサボるようになっていました。適正科目については 1 度しか解いていなかったこともあり、さすがにまずいと感じたため、残り 1 週間であわてて詰め込みましたが、早めの準備や自分流の勉強法を確立していたので、勉強を再開するとすぐに勘を取り戻すことができ、安心して試験に臨むことが出来ました。

自己採点では合格ラインを超えていたため安堵しましたが、マークミス等の不安もあり合格発表まではやはりドキドキしました。合格発表を HP で確認した際に、勘違いで番号を縦に探して行って、自分の番号が飛ばされていたときは吐きそうになりました(番号の順番は横でした)が、無事に合格していて本当に良かったです。

4. 今後に向けて

二次試験は早くても 4 年後に受験のため、業務を通じて多くの経験を積み、今後活かしていけるようにしたいと思っています。二次試験は現在携わっている業務内容から水産部門で受ける予定であり、一次試験とは違う分野を選ぶため、今のうちに基礎的な内容からコツコツ勉強し、立派な技術士になれるよう努力します。